

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 22日

事業所名 彦根学園さくら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		完全バリアフリーになっている。車椅子を使用している児童の受け入れも行っている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に会議を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	今後検討する	公開について法人内で検討する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価については今後検討する。	第三者評価については今後法人で検討する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人内の事例検討研修や権利擁護研修に参加しているまた、自立支援協議会の児童部会の研修にも参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		全体に対してカードでの日課の提示を行っている。また、必要に応じて個別の環境設定、スケジュール提示などを行っている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		おやつ作り・DVD鑑賞・散歩・調理体験・ドライブ・様々な活動や季節に合った	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		四季を感じられるような活動を入れるようにした月間の予定を提示している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを行い、次回利用次の対応等を検討している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		年2回モニタリングを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		可能な限り参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		迎えの予定を伝えている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な児童については医師の指示書を提出してもらっている。今年度、夏季休暇前に新たに医師の指示書等の提出を保護者からして頂いている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		児童発達支援事業所と連携している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援事業所より聞き取り等あれば、利用時の様子や支援の状況などを説明	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		当事業所のみでは行っていないが、自立支援協議会の児童部会での研修会等を通して行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		児童部会、行動障害部会の研修会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		事業所での様子だけでなく、学校との引継ぎで聞いたことなども伝えている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		事業所単体では取り組めていないが自立支援協議会の児童部会として取り組めるように提案する
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があれば行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母の会は組織していない。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に説明を行っている。また、玄関に苦情受付窓口や県の運営適正化委員会の連絡先などを掲示している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報は発行していない。法人でブログやインスタを通して発信している。	今後も法人のホームページやSNSでの広報活動を行う。連絡体制についてはメールメンバー等の導入を今年度検討する
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		学園祭を通して地域と交流している	コロナの収束が見られた後に地域交流行事・活動の実施に向けて取り組む。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルは整備している	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルはあるが、防犯マニュアルはないため、3年度中の整備を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	避難訓練を年6回行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	法人内の研修に参加している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	契約書、放課後等デイサービス計画書に記載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者に事前に聞き取りを行い対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		